					お 上/回り	<u>- ک</u> ت	医烘与	F)] -f-	
対象学科		こども学科	実施学年	1学年	開調	ij	前	期	
科目名		日本国憲法	授業形態	講義	単位	拉数	2	单位	
担当教員		三科 俊	実務経動	食の有無		C)		
実務経験教員の経歴		弁護士として法律事務所に在籍・勤務							
授業のねらい (到達目標)	2. 日本	法の基本観念と人権の概念について概念を説明することができる 本国憲法の基本原理と人権保障・統治構造の概念を説明することができる 本国憲法上の重要条文について通説・判例の見解を説明することができる							
授業概要	日本国憲	国憲法の特徴と全体像が理解できるような授業を行う。 国憲法の基本原理と具体的な条文とを架橋する体系的な説明を行うことによって日本国 の基本的事項・重要事項の理解をはかる。							
テキスト		「憲法」豊岡短期大学							
	第1回	回憲法と立憲主義							
	第2回	日本憲法史	、日本国憲法の	の構成と基本	原理				
	第3回	象徵	天皇、平和主	義の原理					
	第4回	第4回 人権宣言の歴史、人権の観念と類型							
	第5回	第5回 人権の亨有主体、人権保障の限界							
	第6回	私人間における。	人権の保障と阿	界、包括的	基本権	1			
	第7回	包括的	基本権②、法	の下の平等					
授業計画	第8回		精神的自由村	を ①					
	第9回		精神的自由	在②					
	第10回	人。	身の自由、経済	脊 的自由					
	第11回		社会権①)					
	第12回		社会権②)			_		
	第13回	第13回 国務請求権、参政権、国民の義務							
	第14回		統治機構						
	第15回	財政	、地方自治、隱	震法の保障					
W /1 27	期末試	験の実施 授業時数の2/3以_	上の出席	総合評価	期末	中間	平常	出欠	
単位認定	平常評	価:課題提出物の状況・確認テス	ト・授業態度	算出基準	50%	25%	10%	15%	
順 評価方法	上記の	評価の結果、総合評価算出基準	によりC認定以	 上の者を単位	立認定	する			

					オリ /河口	_とも	乙烷与	<u> F</u> LLL	
対象学科		こども学科	実施学年	1学年	開記	講期	通年(前期)	
科目名		情報処理 I	授業形態	演習	単位数 2 単位				
担当教員		長谷川 直子	実務経験	食の有無		()		
実務経験教員の経歴	研修指導	のパソコン部門でのインストラクター業務 およびパソコンヘルプデスクを担当。初心 遺社員のパソコン実務に関する質疑応答	者から上級者まで	幅広い実践的な	技術指		う。ヘルフ	プデス	
授業のねらい (到達目標)	書類などる	稚園や保育園などの教育機関において、掲示物・おたより・お知らせ文書ほか文書を必要とする 類などを作成する際にWordの知識と技術が必要となる。本教科では、Wordを基礎から学習し 率的に活用できるスキルを身につける。また、情報システムの発展と役割について理解する。							
授業概要	目指す。ま	習を通じ、パソコン環境設定、基本操作、Wordの基礎から活用操作まで学習し、MOS検定合格を 指す。また、テキスト教材を中心に情報システムの発展、コンピュータとネットワークなどの仕組み ついて理解を深める。							
テキスト		ord2016セミナーテキスト基礎・MOS攻略問題集Word2016・情報リテラシーと処理技術 coel2016セミナーテキスト基礎							
	第1回	本演習のガイダンス、個人情報、、W 授業データ・Office インストール	indows10セットフ	アップ					
	第2回	USBメモリの使い方、ネットワーク接続 ウイルスソフトの設定	売、インターネッ	トの設定					
	第3回	プリンタ設定とテスト印刷、Windows เ	ıp date						
	第4回 Officeライセンス認証、MOSWord模擬インストール								
	第5回 Adobe Acrobatインストール、PC初期設定変更、授業データについて								
	第6回	オペレーティングシステムの6つの管	理項目				*		
	第7回	パソコンの基本操作、タッチタイピング	ブ、文字入力につ	ついて、Wordの	基本操	作			
授業計画	第8回	文書の作成と管理1							
	第9回	文書の作成と管理2							
	第10回	文字、段落、セクションの書式設定1							
	第11回	文字、段落、セクションの書式設定2							
	第12回	表やリストの作成1							
	第13回	表やリストの作成2							
	第14回	コンピュータの5大機能について		<u>-</u>					
	第15回	情報システムと社会生活との関わり	こついて						
出法韧带	期末記	【験の実施 授業時数の2/3以	上の出席	総合評価	期末	中間	平常	出欠	
単位認定 • 評価方法	平常部	平価:課題提出物の状況・確認テス	ト・授業態度	算出基準	50%	25%	10%	15%	
H 1 144 / J /44	上記の	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

対象学科		こども学科	実施学年	1学年		<u>=こ の</u> 講期		後期)	
科目名		情報処理 I	授業形態	演習	単位	立数	2 単	1位	
担当教員		長谷川 直子	実務経動	食の有無		()		
実務経験教員の経歴	研修指導	民間企業のパソコン部門でのインストラクター業務、また、人材派遣会社の研修部門でのパソコン 研修指導およびパソコンヘルプデスクを担当。初心者から上級者まで幅広い実践的な技術指導を行う。ヘルプデス クでは、派遣社員のパソコン実務に関する質疑応答を電話によりリアルタイムで行う。							
授業のねらい (到達目標)	書類などを	か稚園や保育園などの教育機関において、掲示物・おたより・お知らせ文書ほか文書を必要とする 書類などを作成する際にWordの知識と技術が必要となる。本教科では、Wordを基礎から学習し 効率的に活用できるスキルを身につける。また、情報システムの発展と役割について理解する。							
授業概要	目指す。ま	寅習を通じ、パソコン環境設定、基本操作、Wordの基礎から活用操作まで学習し、MOS検定合格を 目指す。また、テキスト教材を中心に情報システムの発展、コンピュータとネットワークなどの仕組み こついて理解を深める。							
テキスト		Nord2016セミナーテキスト基礎・MOS攻略問題集Word2016・情報リテラシーと処理技術 Excel2016セミナーテキスト基礎							
	第1回	参考資料の作成と管理					·		
	第2回	グラフィック要素の挿入と書式設定1					•		
	第3回	Excel基本(表作成と数式関数)							
	第4回	Excel基本(表作成と数式関数 演習)							
	第5回	模擬1(演習)				•			
	第6回 模擬1(テスト)								
	第7回	模擬2(演習)							
授業計画	第8回	模擬2(テスト)	•						
	第9回	模擬3(演習)							
	第10回	模擬3(テスト)							
	第11回	模擬4(演習)							
	第12回	模擬4(テスト)							
	第13回	模擬5(演習)							
	第14回	模擬5(テスト)							
	第15回	模擬まとめ							
光	期末記	、験の実施 授業時数の2/3以	上の出席	総合評価	期末	中間	平常	出欠	
単位認定 · 評価方法	平常評	平価:課題提出物の状況・確認テス	ト・授業態度	算出基準	50%	25%	10%	15%	
D⊥ IM 77 /54	上記σ)評価の結果、総合評価算出基準(こよりC認定以	上の者を単位	拉認定	する.			

					机/向	_ども	乙烷与	<u>- </u>	
対象学科		こども学科	実施学年	1学年	開請	講期	通年(前期)	
科目名		総合学習	授業形態	演習	習 単位数 2 単				
担当教員		円山昭子 実務経験の有無							
実務経験教員の経歴	立保育	保育園35年6か月の勤務経験から、現場で役立つ保育教材全般について実践的な授業を行							
授業のねらい (到達目標)		トや紙芝居の年齢別選び方や持ち方読み方などを学び、演じ方の基本的な技術を身に付ける る 育グッズの制作と実演方法を身に付ける 制作の際必要となる基本的知識技術をmasterす							
授業概要		手遊び・絵本や紙芝居の読み聞かせなど、覚えたり実演していく 自分なりの工夫を凝らして保育グッズを作る 出来たら演じて見せ合う							
テキスト		テキスト「基本の遊び	と広げ方」&必	要に応じてプロ	ノント				
	第1回	総合学習前期の 図画工作室の使い方片づけ方	の授業内容・採 う 道具箱の中身			に使っ	てみる		
	第2回	子どもたちと楽しむ様々な手あそび 復習できる。	紹介。実演して ようにあそび方々			実際に	やって	みる	
	第3回	絵本の年齢別	関選び方、持ち力	・読み方につ	いて				
	第4回	第4回 絵本や紙芝居の導入としての手あそびから絵本読みの実演まで							
	第5回	紙芝居の年齢別選び方、持	ち方・めくり方・	仕掛けについ	てと読ん	み方の	実演		
	第6回		ための基本的な オと利用のノウィ		る				
	第7回	簡単なペープサート・カー 資料も多めに用意して					•		
授業計画	第8回		制作開始						
	第9回	5	制作続きから完	成まで					
	第10回	子どもたちの前での実践	方法を考え、演	じて見せ合い、 	学びの	場とす	る		
	第11回	保育で	使用するグッズ	第2段の制作					
	第12回		"						
	第13回		"						
	第14回	:	完成と演じ方に	ついて					
	第15回		"						
単位認定	期末試	験の実施 授業時数の2/3以_	上の出席	総合評価	期末	中間	平常	出欠	
平位認定 - 評価方法	平常評	価:課題提出物の状況・確認テス	ト・授業態度	算出基準	50%	25%	10%	15%	
	上記の	評価の結果、総合評価算出基準	によりC認定じ	上の者を単位	拉認定	する			

<u>新潟こども医療専門学</u>校

					112.1.1.1.2		스/八寸		
対 象学 科		こども学科	実施学年	1学年	開調	講期	通年(後期)	
科目名		総合学習	授業形態	演習	単位	立数	2	色位	
担当教員		円山昭子	実務経駅	食の有無)		
実務経験教員の経歴	公立仍	保育園35年6か月の勤務経験から、現	場で役立つ保育	「教材全般につ	いて実	践的な	授業を	行う	
授業のねらい (到達目標)	子どもか	どもが楽しめる(実習等で活用できる)グッズを作ったり、演じる方法・表現する楽しさや難しさ に気付く。練習を重ね、自分のものにしていく。							
授業概要		保育に役立つグッズ制作や、自然物・冬ならではの素材を使っての制作 個人やグループで発表の経験を積み、演じ方や基本的な技術を学ぶ							
テキスト		基本(の遊びと広げた	方					
	第1回	日己和 昨年までの動画を観てイメージ	ファクツスを159 をつかみ、推薦 物を決める	グッズや参考[図書など	ぎを見て	自分の	作る	
	第2回		制作を開始す						
	第3回		制作続き 完成を目指	ġ'					
	第4回		の練習やシナリ た者から皆の						
	第5回	朱発表者の発表 第5回 改良を加え、完全系にする(翌週一週間実習へ)							
	第6回	第6回 スケッチブックシアター制作、パペット制作							
	第7回		制作続き						
授業計画	第8回		"						
	第9回	制化	乍—完成、シナ!	Jオ·練習					
	第10回	يخ	ちらかのグッズ	で発表					
	第11回		コマ回し大						
	第12回	バネルンナター 初級用[MTF・光衣 / DVDを見たり見: 			のを見	て作る!	物を決	
	第13回 制作								
	第14回		制作—完月	艾					
	第15回		発表						
単位認定	期末討	験の実施 授業時数の2/3以	 Lの出席	総合評価	期末	中間	平常	出欠	
平位認定 - 評価方法	平常語	常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度 第出基準 50% 25% 10% 15%							
Pt 1 Heart Sent Area?	上記の	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

<u>新潟こども医療専門学</u>校

					水川 / 河 (_C T	乙烷与	f D f	
対象学科		こども学科	実施学年	1学年	開語	講期	ÀÚ	期	
科目名		英会話	授業形態	講義	単位	立数	2 单	単位	
担当教員		堀切修宏	実務経験	美の有無		C)		
実務経験教員の経歴	\学校で	学校での外国語活動の教育、中学、高等専門学校でのCLILを用いた教育実践、学習塾の運営							
授業のねらい (到達目標)	ている。	・保育園に外国人の園児が入園し 本科目では英語表現の基礎となる 『表現を運用できる力を身につける	文法・構文の	復習を行うとと	で英語 cもに、	を使う 保育の	機会も)現場 ^つ	増え で必	
授業概要	様々な生	英文法の基礎を学習し、英文読解のルールを用いて英文を読んでいく。また保育の現場での 様々な生活場面を題材にした英文や英語表現の学習を通して、保育者と子どもや保護者とのコ ニュニケーションに使われる英語表現や連絡事項の書き方などを学習する。							
テキスト		「英語コミュニケーション」豊岡短期大学							
	第1回	英語 <i>σ</i>	0文法(動詞、形	容詞・副詞)		-			
	第2回	英語の	文法(比較、代名	名詞、疑問詞)					
	第3回	英語の文	(法(進行形、完	了形、受動態)					
	第4回	英語の基礎	構文(5文型)と募	英文読解のルー	-ル				
	第5回	英	語の基礎構文(修飾句)					
	第6回	英語の	基礎構文(接続	詞、仮定法)					
	第7回	入園準	準備の際に用い	る英語表現					
授業計画	第8回	登園・『	降園の際に用い	る英語表現					
	第9回	室内遊	なびの際に用い	る英語表現					
	第10回	外遊	びの際に用いる	英語表現					
	第11回	健康∙病気	気・けがの際に月	肌の英語表現	Į.				
	第12回	運動・お	診散歩の際に用い	ハる英語表現					
	第13回	食爭	事の際に用いる	英語表現					
	第14回 工作・お絵かきの際に用いる英語表現								
	第15回	おたより	・行事の際に用	いる英語表現					
出任包令	期末試	議験の実施 授業時数の2/3以上	 Lの出席	総合評価	期末	中間	平常	出欠	
単位認定 - ・ 評価方法	平常部	『価:課題提出物の状況・確認テスⅠ	ト・授業態度	算出基準	50%	25%	10%	15%	
אל ללישון ום	上記の	評価の結果、総合評価算出基準に	こよりC認定以	上の者を単位	拉認定	する			
	_								

<u>新潟こども医療専門学校</u>

				1	1	<u> </u>			
対 象学 科		こども学科	実施学年	1学年	開語	青期	後	期	
科目名		英会話	授業形態	演習	単位	立数	2 ≜	单位	
担当教員		パトリック	実務経験	乗の有無		()	,	
実務経験教員の経歴		幼児英語教室(イングリッシュキッズランド)での講師							
授業のねらい (到達目標)		基本的な英会話を身につける							
授業概要	⊪・英語のあし	語らしい発音 語のあいさつ、自己紹介 近なものについての簡単な質問、受け答え等を講師と会話をしなから学習する							
テキスト		Essenti	al Grammor in	Use					
-	第1回		Unit1 am/is.	/are					
	第2回		Unit1 am/is.	/are					
	第3回	Unit	2 am/is/are (question)				·	
	第4回	第4回 Unit2 am/is/are (question)							
	第5回	第5回 Unit3 I am doing (question)							
	第6回	第6回 Unit3 I am doing (question)							
	第7回	第7回 中間試験							
授業計画	第8回	第8回 Unit4 are you doing?							
	第9回	L	Init4 are you	doing?					
	第10回		Jnit5 I do/wo	k/like					
	第11回	l	Jnit5 I do/wo	k/like					
	第12回	Unit6 I do	n't…(present	simple negati	ve)	_			
	第13回	Unit6 I do	n't…(present	simple negati	ve)				
	第14回		まとめ						
	第15回		期末試験	į					
出压韧带	期末試験	の実施 授業時数の2/3以_	上の出席	総合評価	期末	中間	平常	出欠	
単位認定 ・ 評価方法	平常評価	:課題提出物の状況・確認テス	ト・授業態度	算出基準	50%	25%	10%	15%	
ᄍᄾᇇᄦᆘᄑ	上記の評	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

	.,				新潟 、	<u> </u>	<u>~ /k ~ </u>	71		
対象学科		こども学科	実施学年	1学年	開記	講期	前	ij		
科目名		体育講義	授業形態	講義	単位	立数	1 直	単位		
担当教員		江口 茜	実務経り	食の有無		()			
実務経験教員の経歴	スポーツ	ジム勤務(アスリートの運動指導)5年、高校部沿	5動(陸上競打	支)指導	5年、1	也			
授業のねらい (到達目標)	生涯健康	涯健康でいるために必要な知識を身につけ、実践する能力を養う								
授業概要	健康科学	建康科学のテキストにより科学的健康・体力づくりの方法を学ぶ								
テキスト			健康科学							
	第1回		現代社会と優	建康			•			
	第2回		運動の基礎理	論①						
	第3回		運動の基礎理	論②						
	第4回		運動生理学	1						
	第5回	第5回 運動生理学②								
	第6回	第6回 運動処方①								
•	第7回		運動処方②	D						
授業計画	第8回		運動処方	3)						
	第9回		救命救急							
	第10回		健康日本2	1						
	第11回		生活習慣症	为						
	第12回		健康な生活設	計①				•		
	第13回		健康な生活設	計②						
	第14回		生活と運動	1						
	第15回		生活と運動	2						
	期末試	験の実施 授業時数の2/3以	上の出席	総合評価	期末	中間	平常	出欠		
単位認定	∥ 平常評	価:課題提出物の状況・確認テス	ト・授業態度	総合評価			0% 15%			
評価方法	上記の	評価の結果、総合評価算出基準	によりC認定以	┗━━━━ L上の者を単位	 立認定 ⁻	<u>ーー</u> する		<u></u>		

					<u> 利力何</u>	_C U	医療导	كرلاع		
対象学科		こども学科	実施学年	1学年	開語	講期	通年(前期)		
科目名		運動遊び	授業形態	実技	単位	立数	1 耳	単位		
担当教員		江口 茜	実務経動	険の有無		()			
実務経験教員の経歴	オーツジ	ム勤務(アスリート指導)	5年、高校部活動(陸	上競技)指導	, 5年、他	2				
授業のねらい (到達目標)	生涯にわれ	こって運動やスポーツを自	目ら実践することができ	きる能力を養	j					
hat ally ten men	各種のスポ	ペーツを仲間とともに体験	し、技能の上達を図り	リスポーツの st	ぎしさを	味わう	,			
授業概要	仲間と身体	、活動を行う中で、自己の)体力・健康の保持・埠	増進を図る。						
テキスト		特になし								
	第1回		ソフトバレーボー	-ル①						
	第2回		ソフトバレーボー	-ル②						
	第3回	第3回 ソフトバレーボール③								
	第4回	第4回 体つくり運動								
	第5回	第5回 バドミントン①								
	第6回	第6回 バドミントン②								
	第7回	第7回 バドミントン③								
授業計画	第8回	第8回 器械運動								
	第9回		バスケットボー	и①						
	第10回		バスケットボー	ル②						
	第11回		バスケットボー	ル3						
	第12回		ウォーキングとその効	果について		·				
	第13回		スケート①)						
	第14回	第14回 スケート②								
	第15回		スケート③)						
M 1.1 Em -1-	期末試験	の実施 授業時数の	2/3以上の出席	総合評価	期末	中間	平常	出欠		
単位認定	平常評価	5:課題提出物の状況・確	果題提出物の状況·確認テスト·授業態度 第出基準 50% 25% 10% 15%							
評価方法	上記の評									

					7月7回り	<u>_とも</u>	△7只一	<u> </u>		
対象学科		こども学科	実施学年	1学年	開記	冓期	前	期		
科目名		保育原理	授業形態	講義	単位	立数	2 肖	単位		
担当教員		齋藤 裕	実務経り))の有無		:	×			
実務経験教員の経歴			•							
授業のねらい (到達目標)	2. 保育の	基礎基本および保育所、幼稚園、認歴史に関する基礎知識を身につけ、 関する様々な思想を学び、それらと	保育制度や施	段の変遷につい	ハて理解	する	理解す			
授業概要	理解する。	:育」とは何かという保育の理念に始まり、保育の基本原理と理念を、保育の歴史を学ぶことを通して 解する。また、保育制度や施設の変遷を学び現代の保育のあり方を考える。 いに、保育に関する様々な思想、多様な理念や実際の保育施設を知り、保育に関する学びを深める。								
テキスト		「保育原理」豊岡短期大学								
	第1回		1. 保育の意 保育理念と概							
	第2回)最善の利益を	考慮した保育						
	第3回	第3回 保護者との協働								
	第4回	第4回 保育の社会的意義								
	第5回	第5回 保育所保育と家庭的保育								
	第6回	第6回 保育所保育指針の制度的位置づけ								
	第7回	2. 保育剂	「保育指針におし 養護と教育の-	における保育の基本 の一体性						
授業計画	第8回		環境を通して行	う保育						
	第9回	:	発達過程に応じ	た保育						
	第10回	1	保護者との緊密	な連携				,		
	第11回	倫理観に	裏付けられた例	保育士の専門性	Ė					
	第12回		保育の思想と歴 6外国の保育思							
	第13回 日本の保育思想と歴史									
	第14回		4. 保育の現状	と課題						
	第15回		期末試験							
#< 17 ≑21 , , ,	期末試	験の実施 授業時数の2/3以	 上の出席	総合評価	期末	中間	平常	出欠		
単位認定 - 評価方法	平常評	価:課題提出物の状況・確認テス	ト・授業態度	首 出 其 淮			15%			
計四刀法	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する									

<u>新潟こども医療専門学</u>校

対象学科		こども学科	実施学年	1学年	開記	溝期		期
科目名		教育原理	授業形態	講義	単位	立数	2 単	単位
担当教員		斎藤 真 実務経験の有無 〇						
実務経験教員の経歴	よび大学 か年	公立小中学校 1.5か年,山形県小学院におけるティーチングアシストま	らよびティーチン	ングサポート(授業す	を援, 学	生支持	援)2
授業のねらい (到達目標)	ぶことに	育思想, 世界の近代教育史, 日本の江戸末期から令和にいたすまでの大まかな教育史を学 ことにより, 教育に関心を持ち, 理解を深められるようです。また教育制度面の特徴をつかめ ようにする。						
授業概要		育の基本的概念, 制度, 歴史面について理解を深めるともに, 教育とは何か, 学校とは何かついて, 仕組みや方法, 意義をつかむ。						
テキスト	豊岡短期	明大学「教育原理」						
	第1回	オリエンテーション「教育」「学校」「先生	生」-教育とは作	可か-				
	第2回	「教育」とは何か -ヒトとチンパンジー	との違い-	•				
	第3回	幼稚園・保育所・認定こども園・小学校	交の違い					
	第4回	教育思想家						
	第5回	教育思想家						
	第6回	「教育」の歴史 -近代日本の教育(江	戸末期)-					
	第7回	「教育」の歴史 -近代日本の教育(明	治・大正)-					
授業計画	第8回	「教育」の歴史 -近代日本の教育(昭	和)-					
	第9回	「教育」の歴史 -近代日本の教育-						
	第10回	教育における今日的課題				10000		
	第11回	教育における今日的課題						
	第12回	教育における今日的課題						
	第13回	第13回 教育方法(幼稚園教育における教育方法)						
	第14回	第14回 教育方法(小学校教育における教育方法)						
	第15回	諸外国の教育			-			
単位認定	期末討	大験の実施 授業時数の2/3以上	上の出席	総合評価	期末	中間	平常	出欠
学位配定 - 評価方法	平常割	『価:課題提出物の状況・確認テス	ト・授業態度	算出基準	50%	25%	10%	15%
F () pad 7 J / de/	上記の	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

対象学科 こども学科 実施学年 1学年 閉講期 後期 科目名			·-····································			_ <u></u>			<u> </u>	
渡邉 みゆき 実務経験の有無 〇	対象学科		こども学科	実施学年	1学年	開語	青期	後	:期	
大学のは	科目名		子ども家庭福祉	授業形態	講義	単化	立数	2 붴	单位	
製産などの知識について教授する。 投業のねらい (到達目標) 現代社会におけることも家庭福祉の意義と歴史的変遷について理解するとともに、制度や関係 機関の実施体制について空びを深めていく。あわせて、子どもの人権に目を向けながらこども。	担当教員		渡邉 みゆき	実務経期	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		()		
機関の実施体制について学びを深めていく。あわせて、子どもの人権に目を向けないらことも、家庭福祉の現状と課題についての考察を深めることで、今後の展望について現極める機会とす。現代社会におけるこども家庭福祉の意義と歴史的変遷について理解する。・こども家庭福祉の制度や支施体系等について理解する。・こども家庭福祉の制度や支施体系等について理解する。・こども家庭福祉の制度や支施体系等について理解する。・こども家庭福祉の制度や支施体系等について理解する。・こども家庭福祉の現状と課題について理解する。 第1回 オリエンテーション 第2回 コリカーション 第2回 オリエンテーション 第2回 音田家庭、ひとり親家庭、外国籍の子どもとその家庭への対応① 第4回 貧田家庭、ひとり親家庭、外国籍の子どもとその家庭への対応② 第5回 障害のある子どもへの対応① 第6回 障害のある子どもへの対応② 第7回 多様な保育ニーズへの対応① 第8回 多様な保育ニーズへの対応① 第8回 多様な保育ニーズへの対応② 第10回 制度と法体系、実施体系② 第11回 児童虐待、DV② 第11回 児童虐待、DV② 第11回 児童虐待、DV② 第11回 児童虐待、DV② 第11回 児童虐待、DV② 第11回 鬼子保健と子どもの健全育成 第15回 こども家庭福祉の動向と展望 期来試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度 期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 第14回 母子保健と子どもの健全育成 第15回 こども家庭福祉の動向と展望 期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 第14回 母子保健と子どもの健全育成 第15回 こども家庭福祉の動向と展望 期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 解婚 母子保健と子どもの健全育成 第14回 母子保健と子どもの健全育成 第15回 および 投票時数の2/3以上の出席 解析 中間 平常 出欠 野価方法 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	実務経験教員の経歴			経験から、保育	育者に求められ	れる子。	ども家具	庭福祉	の法	
現代社会におけることも家庭福祉の意義と歴史的変遷について理解する。 ・子どもの人権擁護について理解する。 ・ごとも家庭福祉の別状と課題について理解する。 ・ごとも家庭福祉の別状と課題について理解する。 ・ごとも家庭福祉の別状と課題について理解する。 ・ごとも家庭福祉の別状と課題について理解する。 第2回 ことも家庭福祉 豊岡短期大学 第1回 オリエンテーション 第2回 ことも家庭福祉の理念と概念 第3回 貧困家庭、ひとり親家庭、外国籍の子どもとその家庭への対応① 第4回 貧困家庭、ひとり親家庭、外国籍の子どもとその家庭への対応② 第5回 障害のある子どもへの対応① 第6回 障害のある子どもへの対応① 第8回 多様な保育ニーズへの対応① 第9回 制度と法体系、実施体系② 第11回 別度と法体系、実施体系② 第11回 児童虐待、DV②		機関の乳	関の実施体制について学びを深めていく。あわせて、子どもの人権に目を向けながらこども							
第1回 オリエンテーション 第2回 こども家庭福祉の理念と概念 第3回 貧困家庭、ひとり親家庭、外国籍の子どもとその家庭への対応① 第4回 貧困家庭、ひとり親家庭、外国籍の子どもとその家庭への対応② 第5回 障害のある子どもへの対応② 第6回 障害のある子どもへの対応③ 第8回 多様な保育ニーズへの対応① 第8回 多様な保育ニーズへの対応① 第9回 制度と法体系、実施体系① 第10回 制度と法体系、実施体系② 第11回 児童虐待、DV① 第12回 児童虐待、DV② 第13回 少年非行等への対応 第14回 ゆ子保健と子どもの健全育成 第15回 ロジー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー	授業概要	・子ども ・こども!	現代社会におけるこども家庭福祉の意義と歴史的変遷について理解する。 そどもの人権擁護について理解する こども家庭福祉の制度や実施体系等について理解する。							
第2回 こども家庭福祉の理念と概念 第3回 貧困家庭、ひとり親家庭、外国籍の子どもとその家庭への対応① 第4回 貧困家庭、ひとり親家庭、外国籍の子どもとその家庭への対応② 第5回 障害のある子どもへの対応② 第7回 多様な保育ニーズへの対応① 第3回 多様な保育ニーズへの対応② 第3回 制度と法体系、実施体系② 第10回 制度と法体系、実施体系② 第11回 児童虐待、DV② 第12回 児童虐待、DV② 第13回 少年非行等への対応 第14回 母子保健と子どもの健全育成 第15回 こども家庭福祉の動向と展望 単位認定 即価方法 規薬時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度 ※合評価 算出基準 粉末 中間 平常 出欠 第出基準 50% 25% 10% 15%	テキスト		「子ども家庭	福祉」豊岡知	豆期大学	_				
第3回 貧困家庭、ひとり親家庭、外国籍の子どもとその家庭への対応① 第4回 貧困家庭、ひとり親家庭、外国籍の子どもとその家庭への対応② 第5回 障害のある子どもへの対応① 第6回 障害のある子どもへの対応② 第7回 多様な保育ニーズへの対応① 第8回 多様な保育ニーズへの対応② 第9回 制度と法体系、実施体系① 第10回 制度と法体系、実施体系② 第11回 児童虐待、DV① 第12回 児童虐待、DV② 第13回 少年非行等への対応 第14回 母子保健と子どもの健全育成 第15回 こども家庭福祉の動向と展望 単位認定 期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 収合評価 期末 中間 平常 出欠 算出基準 初末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		第1回		オリエンテーシ	/ョン					
第4回 貧困家庭、ひとり親家庭、外国籍の子どもとその家庭への対応② 第5回 障害のある子どもへの対応② 第6回 障害のある子どもへの対応② 第7回 多様な保育ニーズへの対応② 第8回 多様な保育ニーズへの対応② 第9回 制度と法体系、実施体系① 第10回 制度と法体系、実施体系② 第11回 児童虐待、DV① 第12回 児童虐待、DV② 第13回 少年非行等への対応 第14回 母子保健と子どもの健全育成 第15回 こども家庭福祉の動向と展望 期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 単位認定 期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 事出基準 切求 中間 平常 日本 第出基準 50% 25% 10% 15%		第2回		も家庭福祉の理	念と概念					
第5回 障害のある子どもへの対応① 第6回 障害のある子どもへの対応② 第7回 多様な保育ニーズへの対応② 第8回 多様な保育ニーズへの対応② 第9回 制度と法体系、実施体系① 第10回 制度と法体系、実施体系② 第11回 児童虐待、DV① 第12回 児童虐待、DV② 第13回 少年非行等への対応 第14回 少子保健と子どもの健全育成 第15回 こども家庭福祉の動向と展望 期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度 提本 中間 平常 出欠 算出基準 15% 25% 10% 15%		第3回	貧困家庭、ひとり親家に	庭、外国籍の子	どもとその家庭	きへの対	才応①			
第6回 障害のある子どもへの対応② 第7回 多様な保育ニーズへの対応① 第8回 多様な保育ニーズへの対応② 第9回 制度と法体系、実施体系② 第11回 児童虐待、DV① 第12回 児童虐待、DV② 第13回 少年非行等への対応 第14回 少年非行等への対応 第14回 母子保健と子どもの健全育成 第15回 こども家庭福祉の動向と展望 期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度 算出基準 50% 25% 10% 15%		第4回	貧困家庭、ひとり親家	庭、外国籍の子	どもとその家庭	きへの対	寸応②			
第7回 多様な保育ニーズへの対応① 第8回 多様な保育ニーズへの対応② 第9回 制度と法体系、実施体系① 第10回 制度と法体系、実施体系② 第11回 児童虐待、DV② 第12回 児童虐待、DV② 第13回 少年非行等への対応 第14回 母子保健と子どもの健全育成 第15回 こども家庭福祉の動向と展望 期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度 期末 中間 平常 出欠 50% 25% 10% 15%		第5回	障害	のある子どもへ	の対応①			·		
授業計画 第8回 多様な保育ニーズへの対応② 第9回 制度と法体系、実施体系① 第10回 制度と法体系、実施体系② 第11回 児童虐待、DV① 第12回 児童虐待、DV② 第13回 少年非行等への対応 第14回 母子保健と子どもの健全育成 第15回 こども家庭福祉の動向と展望 期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度 総合評価 期末 中間 平常 出欠 50% 25% 10% 15%		第6回	障害	のある子どもへ	の対応②				_	
第9回 制度と法体系、実施体系① 第10回 制度と法体系、実施体系② 第11回 児童虐待、DV① 第12回 児童虐待、DV② 第13回 少年非行等への対応 第14回 母子保健と子どもの健全育成 第15回 こども家庭福祉の動向と展望 単位認定 評価方法 単位認定 評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度 第15回 期末 中間 平常 出欠 第15回 第15回 第15回 第15回 第15回 第15回 第15回 第15回		第7回	多様	な保育ニーズへ	への対応①					
第10回 制度と法体系、実施体系② 第11回 児童虐待、DV① 第12回 児童虐待、DV② 第13回 少年非行等への対応 第14回 母子保健と子どもの健全育成 第15回 こども家庭福祉の動向と展望 単位認定 評価方法 単位認定 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度 第15回 第15回 知末試験の実施 投業時数の2/3以上の出席 第15回 第15回 第15回 第15回 第15回 第15回 第15回 第15回	授業計画	第8回	多様	な保育ニーズへ	への対応②					
第11回 児童虐待、DV① 第12回 児童虐待、DV② 第13回 少年非行等への対応 第14回 母子保健と子どもの健全育成 第15回 こども家庭福祉の動向と展望 期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度 第15回 第15回 第15回 第15回 第15回 第15回 第15回 第15回		第9回	制度	度と法体系、実施	施体系①			-		
第12回 児童虐待、DV② 第13回 少年非行等への対応 第14回 母子保健と子どもの健全育成 第15回 こども家庭福祉の動向と展望 期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度 総合評価 第15回 第末 中間 平常 出欠 第25% 10% 15%		第10回	制度	度と法体系、実施	施体系②		•			
第13回 少年非行等への対応 第14回 母子保健と子どもの健全育成 第15回 こども家庭福祉の動向と展望 単位認定 ・		第11回		児童虐待、D	v①					
第14回 母子保健と子どもの健全育成 第15回 こども家庭福祉の動向と展望 期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 中常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度 第出基準 50% 25% 10% 15%		第12回		児童虐待、D	v ②					
第15回 こども家庭福祉の動向と展望 期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 単位認定 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度 第出基準 50% 25% 10% 15%		第13回		少年非行等への	D対応					
単位認定 期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 総合評価 期末 中間 平常 出欠 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度 第出基準 50% 25% 10% 15%		第14回	母子	保健と子どもの	健全育成					
単位認定 ・ 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度 評価方法		第15回	ـ ح	も家庭福祉の重	か向と展望					
・ 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度 F 50% 25% 10% 15% 評価方法	举位 初史	期末試	験の実施 授業時数の2/3以上	 ニの出席		期末	中間	平常	出欠	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	•	平常評	価:課題提出物の状況・確認テスト	・・授業態度	算出基準	50%	25%	10%	15%	
	p. 10-73 /	上記の	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

科目名 社会福祉 授業形態 講義 単位数 2 担当教員 渡邉 みゆき 実務経験の有無 ○ 実務経験教員の経歴 社会福祉士としての現場経験から、保育・福祉の現場で求められる社会福祉についてする。 授業のねらい (到達目標) 保育者の視点から、現代社会における社会福祉の意義と歴史的変遷及び、社会福祉について学ぶ。	おける						
担当教員 渡邉 みゆき 実務経験の有無 ○ 実務経験教員の経歴 社会福祉士としての現場経験から、保育・福祉の現場で求められる社会福祉についてする。 保育者の視点から、現代社会における社会福祉の意義と歴史的変遷及び、社会福祉について学ぶ。 子ども家庭支援の視点、制度、方法などについて学ぶ。 子ども家庭福祉との関連の中で、望ましい保育者となるために、社会福祉の意義	対授す						
実務経験教員の経歴 社会福祉士としての現場経験から、保育・福祉の現場で求められる社会福祉についてする。 授業のねらい (到達目標) 保育者の視点から、現代社会における社会福祉の意義と歴史的変遷及び、社会福祉について学ぶ。 子ども家庭支援の視点、制度、方法などについて学ぶ。 子ども家庭福祉との関連の中で、望ましい保育者となるために、社会福祉の意象	おける						
受業のねらい (到達目標) 保育者の視点から、現代社会における社会福祉の意義と歴史的変遷及び、社会福祉に 子ども家庭支援の視点、制度、方法などについて学ぶ。 子ども家庭福祉との関連の中で、望ましい保育者となるために、社会福祉の意象	おける						
(到達目標) 子ども家庭支援の視点、制度、方法などについて学ぶ。 子ども家庭福祉との関連の中で、望ましい保育者となるために、社会福祉の意義							
	もや歴						
	·ども家庭福祉との関連の中で、望ましい保育者となるために、社会福祉の意義や歴 的変遷、その運営の制度や技術について理解を深める。						
テキスト 「社会福祉論」 豊岡短期大学							
第1回 オリエンテーション	オリエンテーション						
第2回 社会福祉の理念							
第3回 社会福祉の歴史的変遷①							
第4回 社会福祉の歴史的変遷②							
第5回 社会福祉の制度と法体系①							
第6回 社会福祉の制度と法体系②							
第7回 社会保障と関連制度	-						
授業計画 第8回 社会福祉行財政							
第9回 社会福祉施設							
第10回 社会福祉の専門職							
第11回 少子·高齡化社会							
第12回 地域福祉							
第13回 ソーシャルワーク①							
第14回 ソーシャルワーク②	第14回 ソーシャルワーク②						
第15回 まとめ							
期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席	常 出欠						
単位認定 ・ 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度 評価方法	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度 算出基準 50% 25% 10% 15%						
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

					水1/1 /1/1/1/1	_C t		7 111	
对象学科		こども学科	実施学年	1学年	開語	冓期	前	期	
科目名		社会的養護 Ⅰ 授業形態 講義 単位数 2単位							
担当教員		渡邉 みゆき 実務経験の有無							
実務経験教員の経歴		登養護施設での現場経験から、施設で生活する子どもたちの実際の姿や支援内容について 践践的な指導を行う。							
授業のねらい (到達目標)	∥•社会的	子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について理解する。 社会的養護の制度や実施体系等について理解する。 社会的養護の現状と課題について理解する。							
授業概要	望ましい につける	ましい保育者となるために必要な社会的養護の基本的な知識、専門性、価値観を身つける。							
テキスト		「社会的養護 I 」 豊岡短期大学							
	第1回	1回 オリエンテーション							
	第2回	2回 社会的養護の体系							
	第3回	回 児童虐待①							
	第4回		児童虐待②	D					
	第5回		子どもの権利	雑護					
	第6回		保育士の倫	理					
	第7回	E	日常支援と自立	支援①					
授業計画	第8回	Ę	日常支援と自立	支援②					
	第9回	E	日常支援と自立	支援③					
	第10回	社会	会的養護に関わ	る専門職					
	第11回	要	養護児童の家庭	医状况①					
	第12回	要	養護児童の家庭	医状况② 					
	第13回	社会的	勺養護に関する	社会的状況					
	第14回	第14回 社会的養護の現状と課題							
	第15回		まとめ						
単位認定	期末試	験の実施 授業時数の2/3以」	上の出席	総合評価	期末	中間	平常	出欠	
評価方法	平常評	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度 算出基準 50% 25% 10% 15%							
	上記の	評価の結果、総合評価算出基準に	こよりC認定以	上の者を単位	拉認定	する			

					49 7119 C			<u> </u>
対象学科		こども学科	実施学年	1学年	開設	蝴	後	期
科目名		保育者論	授業形態	講義	単位	数	2 单	单位
担当教員		髙木 亜紀	実務経験	食の有無		C)	
実務経験教員の経歴	学習に関	牧諭として多くの幼児や保護者と関 関わった経験、子育てに関する活動 倹学習など)をもとに授業を行う。						
授業のねらい (到達目標)	者に相応 の倫理	牧諭・保育士の制度的位置づけ、ネなしい資質を自ら身につけようとす。 思、乳幼児保育の基礎的知識・技育 関、乳幼児保育の基礎的知識・技育)動向など幅広い視点も含め、保育	る態度を養う。 E、保護者支援	社会人として	の基本 も的学	的あり	方、保 こ、世	育者 界的
授業概要	とされる	牧諭・保育士は制度的にどのような 専門的能力を理解し、保育者に相 」識と技能についても学ぶ。また、ヨ	応しい資質を関	自ら養おうとす	る態度	を身に	こつける	る。倫
テキスト	レーベル	文他「教職論」豊岡短期大学、「幼和 /館、「保育所保育指針解説 平成: も園教育・保育要領解説 内閣府	30年3月 厚生	E労働省」フレ	ーベル	館、「紅	幼保連	
	第1回	【保育とは何か】保育の意義・定義を与ことか、一人一人が大切にされる集団	学びます。子ど 「 Bとはどういうこ。	も理解を通して とかを理解しま	自らが <i>!</i> す。	成長す?	るとはと	ごういう
	第2回	【保育者に求められる資質・能力とは	】法律・制度が対	求める資質と能	カにつ	いて学	びます。	0
	第3回	【保育者養成の歴史】						
	第4回	【保育者に求められる資質】現場で求	められる資質と	:能力とはどの。	ようなも	のか学	びます	0
	第5回	【指導計画について】指導計画の必要	性、ねらいと内	容についてを	学びます			
	第6回	【保育者の仕事について】保育者の仕	上事、義務、研修	会などについ	て学びき	ます。		
	第7回	【保育者の職場環境】勤務実態や、 がます。	場の快適な環	境づくりにはど	のような	ことが	必要か	を学
授業計画	第8回	【保育者の制度的な位置づけ】幼稚園 格取得の要件について学びます。	國教諭、保育士、	,保育教諭とは	何かを	学びま	す。免診	午や資
	第9回	【保育者の任務と服務】身分保障と分 の内容を調べます。	限及び懲戒に	ついて学びます	-。全国1	保育士	会倫理 ———	綱領
	第10回	【子どもとの関わりついて】主体的な近 す。	遊び、学びとは何	可か、環境によ	る保育の	とは何だ	かを学び	びま
	第11回	【連携について】家庭や地域に加え、						
	第12回	【保育観の変遷と保育者の役割】西欧 理解します。						
	第13回	【職員間の連携、幼稚園・保育所・小: す。	学校との連携】; 	連携の重要性と	±連携方	法につ	いて学 ———	≐びま
	第14回	【今日の課題】ジェンダーフリー、発達	障がい、被災地	也などの保育・耳	戦場につ	ついて当	どます	r.,
	第15回	【よい保育者になるためには】今後の	課題についてオ	きえます。 	F			
単位認定	期末記	【験の実施 授業時数の2/3以】	上の出席	総合評価	期末	中間	平常	出欠
評価方法	平常部	平価:課題提出物の状況・確認テス	ト・授業態度	算出基準	50%	25%	10%	15%
	上記の)評価の結果、総合評価算出基準(こよりC認定以	上の者を単位	拉認定	する		

					47 / mg	_C to	<u> </u>	
対象学科		こども学科	実施学年	1学年	開語	冓期	後	:期
科目名		保育の心理学 授業形態 講義 単位数 2単位						
担当教員		中井 和弥 実務経験の有無 〇						
実務経験教員の経歴		童養護施設で小学生のカウンセリングを2年半行った経験や、カウンセリングルームでの5年 カウンセリング経験に基づき、乳幼児期の保育実践において重要な発達心理学理論を紹介 る。						
授業のねらい (到達目標)	発達心3	理学にかかわる基本的な用語を理 て詳細に分類し、それぞれ					段階に	こつい
授業概要		理学の定義および発達心理学にかいての概要を示す。特に乳幼児期に いての概要を示す。特に乳幼児期に 的な保育への活用	については、多	を達的知見に	加え、🗈			
テキスト		発達心理	学(豊岡短期	大学)				
	第1回	発達心理学の気	它義、発達心理	学で学ぶ内容の	の概要			
	第2回	2回 発達はどのように起こるか:遺伝説と環境説、それらの複合説について						
	第3回	B回 動物における生理学的欲求とは異なる社会的行動について						
	第4回	ボウルビー	による愛着理論	命と、愛着の発	達			
	第5回	ストレンジシチュエー	ーション法と、愛	着理論の保育	への活	用		
	第6回		乳児期の発	達				
	第7回		乳幼児期の多	· 達				
授業計画	第8回	幼	児期から児童期	明の発達				
	第9回	<u>ر</u> 	見童期・青年期の	の発達				
	第10回		成人期の発	達				
	第11回	4	‡年期・老年期	の発達				
	第12回	ハヴィガーストおよびエリ	リクソンの発達語	果題から見る生	涯発達	心理学	5	
	第13回	発達	達心理学と教育	学の関連				
	第14回	第14回 保育に活用できる発達心理学						
	第15回	第15回 自身の学びに活用できる発達心理学						
₩ /+ > ग ←	期末試	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 総合評価 期末 中間 平常 出欠						
単位認定 - 評価方法	平常評	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度 算出基準 50% 25% 10% 15%						
(三) 人人 (三) 一元	上記の	評価の結果、総合評価算出基準!	こよりC認定以	上の者を単位	立認定	する		

					机河				
対 象 学科		こども学科	実施学年	1学年	開詞	講期	後	:期	
科目名	,	子ども家庭支援の心理学	授業形態	講義	単位	立数	2.弹	4位	
担当教員		中井 和弥 実務経験の有無 〇							
実務経験教員の経歴		藤施設で2年半, 高齢者施設で3年 学の基本的知識を教授する。	間, 心理支援を	を行った経験に	こ基づ	き、生活	<u></u> 厓発達	に関	
授業のねらい (到達目標)	いて考え	涯発達の視点から発達のプロセスや初期発達の重要性について理解し、保育の関連性について考え、子どもの発達段階ごとの特徴と重視すべき課題について理解する。子育て家庭に関する現状と課題を把握し、子育てを取り巻く社会的状況と課題について理解する。							
授業概要	生涯発	涯発達に関する心理学的な基礎的知識を習得し、初期経験の重要性や発達課題等につい 学ぶ。家族・家庭の意義や機能を把握するとともに、親子関係や家族関係等について発達的 現点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。子育て家庭を取り巻く 社会的状況と課題について学ぶ。						き達的	
テキスト		こどもの発達と家庭支援(豊岡短期大学)							
	第1回	1回 乳児期の発達							
	第2回	約児期の発達							
	第3回	第3回 学童期の発達							
	第4回		青年期の発	達					
	第5回		成人期・中年期(の発達					
	第6回		老年期の発	達					
	第7回	家	『族・家庭の意象	と機能					
授業計画	第8回	親二	子関係·家族関	系の理解					
	第9回	子育	ての経験と親と	しての育ち					
	第10回	子育	「てを取り巻く社	会的状況					
	第11回	ライ	イフコースと仕事	・子育て					
	第12回	£	多様な家庭とそ	の理解					
	第13回	特	別な配慮を要す	「る家庭					
	第14回	第14回 子どもの生活・生育環境とその影響							
	第15回		の心の健康に	関わる問題					
黑什到中	期末試	験の実施 授業時数の2/3以」	 Lの出席	総合評価	期末	中間	平常	出欠	
単位認定 - 評価方法	平常評	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度 算出基準 50% 25% 10% 15%							
1 pi	上記の	評価の結果、総合評価算出基準に	こよりC認定り	上の者を単位	立認定	する			

					和冷	<u>_とも</u>	医擦具	<u> </u>	
対象学科		こども学科	実施学年	1学年	開記	薄期	後	:期	
科目名		保育の計画と評価	授業形態	講義	単位	立数	2 肖	単位	
担当教員		髙木 亜紀 実務経験の有無 〇							
実務経験教員の経歴	や学習!	か稚園教諭として多くの幼児や保護者と関わった経験、学童保育指導員として小学生の生活 学習に関わった経験、子育てに関する活動(育児サークル主宰、企業による子どもを対象と た職業体験学習など)をもとに授業を行う。							
授業のねらい(到達目標)	いて理解	保育における長期的な見通し、職員 解する。PDCAサイクルについて理 つながることを学ぶ。							
授業概要	「計画・	長期的見通し、教職員の共通認識 実践・反省・改善」の関連性につい 呆育の見直しについて掘り下げ、-	ての実例を理	解すると共に	、保育	の省察	₹から∃		
テキスト	省」フレ	礼他「教育課程論」豊岡短期大学、 一ベル館、「保育所保育指針解説 認定こども園教育・保育要領解説	平成30年3月	厚生労働行	シンレ	ーベル	館、「	幼保	
	第1回	【幼稚園・保育所・認定こども園につい も園の違いについて学びます。	いて】教科書を!	見て授業内容と	:幼稚園	·保育	所·認定	ESE	
	第2回	【全体的な計画について】園でいう計 びます。	画とは何か。な	ぜ保育をする	こは計画	画が必.	要なのだ	かを学	
	第3回	第3回 【教育課程・全体的な計画の編成方法①】教育課程と全体的な計画とは何か。また、それらが、園の中でどのように編成されるのか、手順を学びます。							
	第4回	【教育課程・全体的な計画の編成方法	法②】手順、形式	式、記入内容を	学びま	す。		•	
	第5回	【教育課程・全体的な計画の編成方法	法③】編成の際	の配慮する点	を学びま	ます。			
	第6回	【指導計画との関係について】教育制員全員に共通理解を与えるものであ)指導部	†画のキ	もとにな	り、職	
	第7回	【指導計画の作成方法】指導計画をから、実践に結びつけやすく、無理の						・ジしな	
授業計画	第8回	【年間指導計画について】年間指導語	計画とは何かを	理解しながら実	際に作	成して	みまし	よう。	
	第9回	【月間指導計画について】月間指導語	計画とは何かを	理解しながら実	経際に作	成して	みまし	よう。	
	第10回	【週日案について】週日案とは何かを	理解しながら実	ミ際に作成して	みましょ	ょう。			
	第11回	【デイリープログラムについて】日案と う。	との違いは何か	を理解しながら	実際に	作成し	てみま	しょ	
	第12回	【保育における記録と反省】計画し、 ことを学びます。	実践し、評価反	省をすることに	より、次	ての課題	夏が見て	つかる	
	第13回	【保育における評価と改善】計画し、ことを学びます。反省と評価には様々 【現代の保育ニースや他国の教育課	マな方法がある	ことも学びます	0				
	第14回	はいる。 学びます。また、他国との保育の違い 良さを発見することができます。これ 考えましょう。	いについて学ぶ	ことにより、他	国の良る	き、私た	ちの保	育の	
	第15回	【期末試験】					•		
単位認定	期末記	試験の実施 授業時数の2/3以	上の出席	総合評価	期末	中間	平常	出欠	
平位認定 • 評価方法	平常計	平価:課題提出物の状況・確認テス	ト・授業態度	算出基準	50%	25%	10%	15%	
To I lived to the System?	上記の)評価の結果、総合評価算出基準	によりC認定り	メ上の者を単	位認定	する			

<u>新潟こども医療専門学</u>校

			1	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	7/7/ 7//9		△7只→			
対象学科		こども学科	実施学年	1学年	開語	講期 ———	前	ī期 ———		
科目名		保育内容総論	授業形態	講義	単化	立数	1 🖺	単位		
担当教員		高木 亜紀 実務経験の有無								
	学習に関	牧諭として多くの幼児や保護者と関 引わった経験、子育てに関する活動 食学習など)をもとに授業を行う。								
(到達日煙)	を総合的	保育所・認定こども園における保育 りに捉える視点から、乳幼児期の発 こついて保育の流れを概観し、保育	《達過程、園で	の生活や遊び						
授業概要	て子ども	学の5つの領域は保育実践では分 の生活や遊びの中では、それらが にし、保育を進めていけるようにす	丸ごと含まれ							
テキスト	学省」フ	けみ他「保育内容総論」豊岡短期大 レーベル館、「保育所保育指針解記 忍定こども園教育・保育要領解説	说 平成30年3	月 厚生労働	省」フ	レーベ	ル館、	「幼保		
	第1回	【保育内容総論とは何か】保育内容と	は何かを学びる	ます。5領域一	コーコ	こついて	て学びま	きす。		
	第2回	【育みたい資質・能力と幼児期の終わ のような保育内容の展開において育			育みた	い資質	・能力が	パ、ど		
	第3回	【幼稚園教育要領とは】幼稚園教育要 私達の身近な教科書としていけるよう		場でどのような	意味を	持つか	を学び	ます。		
	第4回	【保育所保育指針とは】保育所保育指達の身近な教科書としていけるように		でどのような意	味を持	つかを	学びま	す。私		
	第5回	【幼保連携型認定こども園教育・保育 持つかを学びます。私達の身近な教				でどの	どのような意味を			
	第6回	【保育内容の変容とその背景】歴史と わったのか、どのように変わったのか		た保育内容に	ついて	学びます	す。なせ	変		
	第7回	【園行事の意味】乳幼児にとっての園	行事の意味とあ	り方について	学びます	†。				
授業計画	第8回	【小学校との円滑な連携について】連 経験と発達に即した保育と、小学校に				て学びる	ます。幼	児の		
		【環境を通して保育を行なうとは】環境 いうことかを事例で学びます。	をは何か、また	環境を通して何	呆育を行	すなうと	いうのに	まどう		
	第10回	【遊びによる総合的な保育とは】子ど: との意義を学びます。	もが遊びから学	ぶものは何かる	を考えま	す。総	合的で	あるこ		
	第11回	【全体的な計画の作成について】各年	齢段階の発達	状態と生活にて	ついて学	びます	-			
	第12回	【指導計画の作成について】各年齢的	段階の発達状態	と生活について	く学びま	. चं .				
	第13回	【記録を書く意義について〜PDCAサー 味について学びます。	イクルとは~】タ	別理解に基づ	く評価。	、観察記	己録を書	を意		
	第14回	【現代的課題~子育て支援についての役割についても理解しましょう。	~】保育に対す	る社会のニース	ぐについ	て学び	、ます。 (保育者		
	第15回	【現代的課題~特別な配慮を必要とす について学びます。保育者の役割に			保育に	対する	社会の	ニーズ		
), , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	期末討	験の実施 授業時数の2/3以」	この出席	総合評価	期末	中間	平常	出欠		
単位認定	平常評	価:課題提出物の状況・確認テス	>•授業態度	算出基準	50%	25%	10%	15%		
評価方法	上記の	評価の結果、総合評価算出基準に	こよりC認定以	上の者を単位	認定	する				

					初/河		本:ぼそ	見門学		
対象学科		こども学科	実施学年	1学年	開記	講期	後	期		
科目名		人間関係	授業形態	講義 単位数 1単位						
担当教員		原田 明子 実務経験の有無 〇								
実務経験教員の経歴		立幼稚園・保育園での勤務経験から、子どもの発達を促す保育内容について理論に基づき 践的指導を行う。								
授業のねらい (到達目標)		R育指針・幼稚園教育要領における領域ノ Rの発達や自立心・協同性の発達を理解			についっ	て理解す	る。			
授業概要	1) 事例: 2)保育者 いくか考:	を用い、さまざまな子どもの人と関わる 者としてどのように人と関わる力を育て 察する。	る力の育ちを考り ていくのか、保	察する。 育者として子ど	もとどの	こような	関係を	<u></u> 築いて		
テキスト	豊岡短期	岡短期大学「人間関係論」 								
	第1回	回領域人間関係のねらいと内容及びその取扱い								
	第2回	領域人間関係における保育者の役割								
	第3回	子どもの人間関係を見つめる目と環	境設定				_			
	第4回	子どもが主体の保育と人と関わるカ								
	第5回	第5回 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿と保育内容								
	第6回	集団保育のメリット・デメリットと子ど	の人と関わるだ	ל						
	第7回	インドプロジェクトの事例から保育内	容を考察する			-				
授業計画	第8回	インドプロジェクトの事例から5領域の	関連を考察する	3						
	第9回	子どもの人と関わる力を育む保育内	容を考える							
	第10回	子どもの人と関わる力を育む保育内	容を考える(ロー	-ルプレイ)						
	第11回	自分たちで考えた事例から幼児期の	終わりまでに育	ってほしい姿と	の関連	を考察	する			
	第12回	人と関わる力を育むための保育者の	援助とは							
	第13回	地域の人々との多様な関わりや小学	校との交流を導	く保育計画						
	第14回	科目終了試験								
	第15回	期末テスト								
	期末記	・ は験の実施 授業時数の2/3以	上の出席	総合評価	期末	中間	平常	出欠		
単位認定 •	平常部	『価:課題提出物の状況・確認テス	ト・授業態度	算出基準	50%	25%	10%	15%		
評価方法	上記の)評価の結果、総合評価算出基準	によりC認定り	上の者を単位	立認定	' する	<u> </u>	<u> </u>		

対象学科		こども学科	実施学年	1学年		講期	前	期		
科目名		言葉	授業形態	講義	単位	立数	1	单位		
担当教員		板垣 裕	実務経馴	食の有無)			
実務経験教員の経歴		幼児教育施設での勤務経験を活かし、実践的な授業を行う。								
授業のねらい (到達目標)	領域『言	「域『言葉』の内容、その他の領域との相互性を学び、言葉の発達の大切さを理解することができる。								
授業概要	て学習を	場別の言葉の発達やそのしくみ、こどものへの先達となる保育者の言葉のあり方、姿勢などについ学習を深め、発達段階に合わせた関わりと言葉がけの大切さを理解すると共に、文字への興味、言葉 けつ楽しさや美しさ、言語教材にについても学ぶ。								
テキスト	新保育	保育ライブラリ 保育の内容・方法を知る 言葉								
	第1回	1回 言葉とは何か? 私たちが言葉を使って行っていること								
	第2回	 2回 母語・日本語の特徴								
	第3回	言葉の形態(聞く話す読む書く)								
	第4回	第4回 言葉の役割①								
	第5回	第5回 言葉の役割②								
	第6回	言葉の発達(誕生期~乳児期)①								
	第7回	言葉の発達(誕生期~乳児期)②								
授業計画	第8回	言葉の発達(幼児期)								
	第9回	保育者の関わり(誕生期~乳児期)								
	第10回	保育者の関わり(幼児期)								
	第11回	豊かに言葉を育む活動①【語用論】								
	第12回	豊かに言葉を育む活動②児童文化財	t							
	第13回	言葉の問題① 人的環境として								
	第14回	言葉の問題② 障害								
	第15回	視聴覚教材【ピンク帽子のドレミファン	/]							
単位認定	期末記	「験の実施 授業時数の2/3以」	上の出席	総合評価	期末	中間	平常	出欠		
平位認定 • • • • • • • • •	平常語	呼価:課題提出物の状況・確認テス	ト・授業態度	算出基準	50%	25%	10%	15%		
1 1 July 7 J 74-3	上記の)評価の結果、総合評価算出基準(こよりC認定以	上の者を単位	立認定	する				

					机海	_C U	<u> 医療</u> 导	FIJF	
対象学科		こども学科	実施学年	1学年	開記	講期	前	期	
科目名	表現 授業形態 演習 単位数 1 単位								
担当教員		小見 英晴 実務経験の有無 〇							
実務経験教員の経歴)稚園教諭7年 トミック指導16年							
授業のねらい (到達目標)	育指導法	容を理解し、表現遊びを展開する まを修得していくことを目的とする。 について必要な知識も併せて修得	また、こどもの						
授業概要	幼稚園 を主軸と 義、効果	教育要領、保育所諸育指針、幼保 して他領域での知識や技能と関連 的な指導法、使用教材の知識など 言語表現、造形表現から学習する	R連携型認定こ ■させながら、こ ごについての理	どもにとって	の表現	につし	いて、そ	の意	
テキスト		版 幼児の音楽教育法 美しい歌 出版 吉富 功修・三村 真弓							
	第1回	領域「表現」についての基本的な考 「表現」についての洞察	え方						
	第2回	領域「表現」の指導案において求め 小学校の教科とのつながりについて		え方と評価					
	第3回	基礎リズム 基礎リズムパターンの理解と指導上	この留意点						
	第4回	幼児期の身体的・精神的発達をふる	まえた指導法の	理解					
	第5回	第5回 基本動作 幼児の心情・認識・思考・動きをふまえた基本動作 日常生活が表現につながる可能性に気づき、観察や模倣を通して幼児のイメージを豊かにす							
	第6回	日常生活が表現につながる可能性 る指導法	に気づき、観察	や模倣を通して	幼児♂	ンイメー	ジを豊か	かにす	
	第7回	CD等の情報機器を用いた多様な振	り付けの実践と	:理解					
授業計画	第8回	童謡やわらべうたについての多様な 幼児の表現したい気持ちを育む指							
	第9回	楽器の製作と活用、製作した楽器を	用いての指導	素の作成					
	第10回	楽器の取り扱いと身近な素材を使っ 指導案作成の基礎を理解し、指導						·	
	第11回	領域「表現」と幼保小のつながり							
	第12回	オノマトペ(擬態語・擬音語・擬声語)の表現方法に	ついて					
	第13回	表現する力を育てるための保育者の	の役割と援助に	ついて					
	第14回	絵本のストーリーを取り入れた模擬 保育構想発展のための相互発表に							
	第15回	リズム遊びを用いた創作発表							
単位認定	期末記	験の実施 授業時数の2/3以_	上の出席	総合評価	期末	中間	平常	出欠	
平位能定 ・ 評価方法	平常詞	価:課題提出物の状況・確認テス	ト・授業態度	算出基準	50%	25%	10%	15%	
H 1 1000 / J /2-3	上記の	評価の結果、総合評価算出基準	こよりC認定以	上の者を単位	立認定	する			

		······································		,	初海	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	
対象学科		こども学科	実施学年	1学年	開請	期	前	期	
科目名		音楽表現I	授業形態	演習	単位	拉数	1 3	単位	
担当教員	石川美	恵・川内奈央・寺内めぐみ・市嶋融介	実務経駅	険の有無			0		
実務経験教員の経歴	楽器)の でき、「i	講師それぞれが、音楽教室・自宅でのピアノ指導歴数十年、またソロの演奏活動、声楽(他器)の伴奏等の経験より、初心者の学生からレベルの高い学生まで幅広い指導を行うことがき、「音楽による表現」へのアプローチ、コードによる伴奏付け等のアドバイスを行っている。							
授業のねらい (到達目標)	楽曲の	建う、途中で止まる、弾き直すなどで テンポを正しくとり、音楽の流れを中ある表情豊かな演奏を心がけたと	断しないよう	にする。	音楽作品	品にな	るよう	に心が	
授業概要	け、対象	では、楽譜を読む、音を奏でる、リス 者に合わせた音楽活動についてる 動について体験的な学習をする。	ズムを打つとし 考察する。また	\った音楽の こ、保育・教育	基礎知言 福祉等	哉、技 等の現	術を身 場に即	かした	
テキスト	豊岡短	大テキスト「こどもと音楽表現」「ノ	曲集」		.,,,	•	,,,,,		
	第1回	「本科目の概要の説明。「こどもと音楽 110曲集」より、テクニックを身につける ベル把握。	表現」ハイエルながら実践で沿	ルピアノ教則本 「用できるレパ・	ころテキートリー	-ストと を増や	「幼児です。個	か歌 々のレ	
	第2回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイニ 習する。初心者は初歩の課題から音	エル・弾き歌い) 読み・リズム・i	を中心に各個 重指に慣れる。	人の進	度に合	わせた	:曲を練	
	第3回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイコ 習する。初心者は初歩の課題から音	ェル・弾き歌い) 読み・リズム・ÿ	を中心に各個 重指に慣れる。	人の進	要に合	わせた	曲を練	
	第4回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイン 習する。初心者は初歩の課題から音	ニル・弾き歌い) 読み・リズム・シ	を中心に各個 重指に慣れる。	人の進	きに合	わせた	曲を練	
	第5回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイコ 習する。初心者は初歩の課題から音	ェル・弾き歌い) 読み・リズム・道	を中心に各個 運指に慣れる。	人の進	度に合	わせた	:曲を練	
	第6回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイコ 習する。初心者は初歩の課題から音	読み・リズム・道	重指に慣れる。					
	第7回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイコ 習する。初心者は初歩の課題から音	Eル・弾き歌い) 読み・リズム・資	を中心に各個 指に慣れる。	人の進	度に合	わせた	曲を練	
授業計画	第8回		中間試験						
	第9回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイコ	エル・弾き歌い) 習する。	を中心に各個	人の進	度に合	わせた	:曲を練	
	第10回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイコ	習する。						
	第11回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイニ	習する。						
	第12回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイニ	習する。						
	第13回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイニ	習する。						
	第14回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイコ	習する。					_	
	第15回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイコ 	エル・弾き歌い) 習する。	を中心に各個	人の進	度に合	わせた	曲を練	
単位認定	期末試	験の実施 授業時数の2/3以_	上の出席	総合評価	期末	中間	平常	出欠	
平位配足 • 評価方法	平常評	価:課題提出物の状況・確認テス	ト・授業態度	算出基準	50%	25%	10%	15%	
27 127 2 2	上記の	評価の結果、総合評価算出基準に	によりC認定り	人上の者を単 ・	位認定	する			

対象学科		こども学科	実施学年	1学年	T	声期	後	期	
科目名		造形表現 I	授業形態	演習	単位	立数	1 <u>E</u>	——— 単位	
担当教員		川嶋 宣彦	実務経り	・ 食の有無		()		
実務経験教員の経歴		高校教諭(美術工芸)、大学美術科非常勤講師							
授業のねらい(到達目標)	ができる。	幼児造形教育の指導・援助者として、必要な形や色や質感等の基礎的な知識及び技能について理解できる。 がく、つくる、造形あそびの領域の製作を通して、基礎的な知識及び技能について習得できる。 材研究及び発表を行うことで思考力や表現力を高めることができる。 元道形の行等で反切者として形でも等の道形の基本的な理論で子首しなから、実际にてれらにして							
授業概要	テーマを 具や描画 まな素材	プログログ ではいするとというと言いのという。また、具体的な描写によって観察力を養い、合わせて用一マをもとに色彩分割及び構成学習を行う。また、具体的な描写によって観察力を養い、合わせて用や描画材の特性を利用してさまざまな表現技法から想像力を高め、体験的に理解する。さらに、さまざな素材をもとに、それらの特性を活かして創意工夫しながら製作を展開し、平面及び立体における造形で高いである。							
テキスト		造形表現論(豊岡短期大学)							
	第1回	1回 幼児造形教育の重要性と研究の視点について							
	第2回	2回 幼児造形(表現)の特徴・領域・道筋について							
	第3回	えがく領域に伴う製作፤(えがく活動	における指導	・援助と実際))				
	第4回	第4回 えがく領域に伴う製作I(えがく活動における指導・援助と実際)							
	第5回	つくる領域に伴う製作パつくる活動	における指導	・援助と実際)					
	第6回	つくる領域に伴う製作ぼつくる活動	における指導	・援助と実際)					
	第7回	造形あそびの領域に伴う製作Ⅲ(造	造形遊びにお け	ける指導・援助	かと実際	})			
授業計画	第8回	造形あそびの領域に伴う製作III(追	造形遊びにお け	ける指導・援助	かと実際	*)			
	第9回	作品の研究及び発表	-						
	第10回	作品の研究及び発表		-					
	第11回	作品の研究及び発表							
	第12回	作品の研究及び発表							
	第13回	作品の研究及び発表		•					
	第14回	幼児造形教育の課題について							
	第15回	まとめ		····				·	
34 /L=n-	期末討	議験の実施 授業時数の2/3以上	の出席	総合評価	期末	中間	平常	出欠	
単位認定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	平常評	価:課題提出物の状況・確認テス	··授業態度	算出基準	50%	25%	10%	15%	
評価方法	上記の	評価の結果、総合評価算出基準に	こよりC認定以	上の者を単位	立認定	する	-	•	

	月								
担当教員 江口 茜 実務経験の有無 〇 実務経験の有無 〇 実務経験教員の経歴 スポーツジム勤務(アスリート指導)5年、高校部活動(陸上競技)指導5年、他 授業のねらい こども同士での運動遊びにおける表現や心身の健康など、援助者として発達状況に応じた	位								
実務経験教員の経歴 スポーツジム勤務(アスリート指導)5年、高校部活動(陸上競技)指導5年、他 授業のねらい こども同士での運動遊びにおける表現や心身の健康など、援助者として発達状況に応じた									
授業のねらい こども同士での運動遊びにおける表現や心身の健康など、援助者として発達状況に応じた	江口 茜 実務経験の有無 〇								
	スポーツジム勤務(アスリート指導)5年、高校部活動(陸上競技)指導5年、他								
(Pine 1 like)	こども同士での運動遊びにおける表現や心身の健康など、援助者として発達状況に応じた援助 の在り方を理解し、各種の問題に取り組むことができる。								
ではもの表現遊びや運動が年齢に応じて展開されていくことを理解し、表現遊び運動の実践 投業概要 からイメージを膨らませ、安全に楽しく表現遊びが展開できる知識及び実践力を理論的に汲る。	こどもの表現遊びや運動が年齢に応じて展開されていくことを理解し、表現遊び運動の実践例 からイメージを膨らませ、安全に楽しく表現遊びが展開できる知識及び実践力を理論的に深め る。								
テキスト 表現とこどもの運動	表現とこどもの運動								
第1回 運動遊びのねらい、援助について									
第2回 こどもの発達と運動について①	第2回 こどもの発達と運動について①								
第3回 こどもの発達と運動について②	第3回 こどもの発達と運動について②								
第4回 運動遊びの基本的な動き①	第4回 運動遊びの基本的な動き①								
第5回 運動遊びの基本的な動き②	第5回 運動遊びの基本的な動き②								
第6回 運動遊びの基本的な動き③	第6回 運動遊びの基本的な動き③								
第7回 身体コントロール能力の向上①	第7回 身体コントロール能力の向上①								
授業計画 第8回 身体コントロール能力の向上②	第8回 身体コントロール能力の向上②								
第9回 こどもの表現運動①	第9回 こどもの表現運動①								
第10回 こどもの表現運動②	第10回 こどもの表現運動②								
第11回 発達段階と表現運動の実践①	第11回 発達段階と表現運動の実践①								
第12回 発達段階と表現運動の実践②	第12回 発達段階と表現運動の実践②								
第13回 発達段階と表現運動の実践③	第13回 発達段階と表現運動の実践③								
第14回 表現運動における安全指導①	第14回 表現運動における安全指導①								
第15回 表現運動における安全指導②	第15回 表現運動における安全指導②								
光体製造 総合評価	出欠								
	15%								
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する								

			······································		水儿/呵						
対象学科		こども学科	実施学年	1学年	開語	講期	後	:期			
科目名		乳児保育 I 授業形態 講義 単位数 2 単位									
担当教員		原田 明子 実務経験の有無 〇									
実務経験教員の経歴	私立乳児園での勤務経験から、現場で求められる乳児保育担当者の資質・能力が培われるよう、実践的指導を行う。										
授業のねらい (到達目標)	・乳児保育の理念と役割を理解する ・3歳未満児の発達を理解し、個々の発達を促す保育内容とは何か考える。										
授業概要	1) 乳児保育の理念・役割・発達を理解し、学んだことを整理しまとめる。 2) 演習をとおして、乳児のかかわり方を知る。										
テキスト	豊岡短期	ー 明大学「乳幼児保育」、「日本が誇る	っていねいな保	<u>;</u> 育」							
	第1回 「赤ちゃんの不思議」を視聴し、赤ちゃんのしらぜざる能力を知り、乳幼児に興味をもつ										
	第2回	0歳児の発達特徴を知り、発達早見表	を作る								
	第3回 1歳児の発達特徴を知り、発達早見表を作る										
	第4回 2歳児の発達特徴を知り、発達早見表を作る										
	第5回 子どもの発達を促す遊びについて知り、具体的な援助方法を学ぶ										
	第6回 子どもの発達と生活について知り、保育者の配慮点を学ぶ										
	第7回 0歳児クラスの一日の流れについて学ぶ										
授業計画	第8回 現代社会における乳児保育の役割について										
	第9回 乳児保育に携わる保育者の役割について										
	第10回 演習: 赤ちゃん人形をお風呂に入れ、その意義や配慮点を学ぶ										
	第11回 演習:調乳時や授乳時の配慮点や抱っこ、おんぶを実際に経験する										
	第12回 演習:アレルギー対応について学び、実際にアレルギー対応おやつを作る										
	第13回 科目終了テスト										
	第14回 赤ちゃんの記録づくりを通し、赤ちゃんが保護者にとってどれほど大切かを学ぶ										
	第15回 期末テスト										
35 14 531 中	期末記	大験の実施 授業時数の2/3以	この出席	総合評価	期末	中間	平常	出欠			
単位認定 ・ ・ 評価方法	□					10%	15%				
本门四门内	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する										

					<u> 新海</u>	<u>_とも</u>	医療具	子[7]		
対象学科		こども学科	実施学年	1学年	開記	講期	通年((前期)		
科目名		保育実習指導I	授業形態	演習	単位	立数	2 萬	単位		
担当教員		阿部京子 実務経験の有無 〇								
実務経験教員の経歴		公立保育園での40年の勤務経験から、求められる保育者の姿や多くのエピソードを通して子どもの育ち・援助の在り方を指導する。								
授業のねらい(到達目標)	②保育用 ③グルー	①実習のマナーや保育者としての倫理などに理解を深める。 ②保育用語を知り、文章力を身につける。 ③グルーブ園実習を通して保育を観察する力を養う。 ・子どもの育ちについて・保育者の援助やその意図について・保育環境やその意図について								
授業概要	マナーヤ ②グルー を養う。	①冊子「グルーブ園実習のしおり」・教科書「幼稚園・保育所・認定こども園パーフェクトガイド」等を通して、実習のマナーや保育者の倫理などについて理解を深める。 ②グルーブ園実習の日誌記載を通して、子どもの育ちや保育者の援助などに理解を深め、保育用語を知り、文章力を養う。 ③教科書「実践保育学」からO歳~5歳の育ちと必要な援助等を学ぶ(エピソードを通して理解を深める)								
テキスト	保育の基	幼稚園・保育所・認定こども園実習パーセクとガイド(わかば社) 実践保育学(日本小児医事出版社) 保育の基本用語(わかば社) 保育の基本用語(わかば社) 旧子・・・グループ園実習のしおり 、日誌・指導案の書き方、日誌書き方サンブル、指導案サンブル								
	第1回	・授業の進め方や受け方について・実習のマナーや保育者としての倫理に・グループ園実習について(冊子:「グループの	ついて -プ園実習のしお	り 」より)						
	第2回	・グループ原実習(1日実習1回目)に向けての、実習の仕方やマナーについて								
	第3回	第3回 子どもの育ちや必要な援助について								
	第4回	子どもの育ちや必要な援助について								
	第5回	第5回 3歳~5歳の育ちや援助の視点について グループ園実習(2日実習1回目)に向けて、実習のマナーを確認								
	第6回	日誌の書き方を指導する(3歳~5歳)								
	第7回									
授業計画	0歳~2歳児の育ちや援助の視点について 第8回 グループ園東習(2日実習2回目)に向けて、実習のマナーを再確認 2日実習1回目の日誌の書き直し									
	第9回	日誌の書き方を指導する(O歳~2歳)								
	第10回	(グループ園実習2日実習2回日の観察記録(エピソード)を某に日誌を集いてみる)								
	第11回	参加実習(メモを取りながら)の仕方やマナーについて 第11回 2日実習2回目の日誌の書き直し								
	第12回	日誌の書き方を指導する								
	第13回	(グループ園実習1日実習3回目の	日誌を書く)							
	第14回	グループ園実習1週間実習1回目に向けての準備をする 第14回 ・絵本の指導案の書き方について ・年齢に合った絵本の選定								
	第15回	部分実習指導案『絵本の読み聞かせ	いる立案する				_			
W /1 27	期末記	大験の実施 授業時数の2/3以	上の出席	総合評価	期末	中間	平常	出欠		
単位認定 ・ 評価方法	平常部	平価:課題提出物の状況・確認テス	ト・授業態度	算出基準	50%	25%	10%	15%		
a: אל על שון	上記の	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する								

					初月初可り	<u> </u>	<u> </u>	子"		
対象学科		こども学科	実施学年	1学年	開記	溝期	通年((後期)		
科目名		保育実習指導 I	授業形態	演習	単位	立数	2	並位		
担当教員		阿部京子 実務経験の有無 〇								
実務経験教員の経歴		公立保育園での40年の勤務経験から、求められる保育者の姿や多くのエピソードを通して子ど もの育ち・保育の援助の在り方を指導する。								
授業のねらい (到達目標)	②指導3	D望まれる保育者の姿に関心を持ち、自身を振り返り、保育者としての在り方を身に付ける。 ②指導案の立て方を知る(部分実習指導案・責任実習指導案) ③日々の『ねらい』をしっかりもって実習することの大切さに気付く。								
授業概要	育者像を ②グルー ③育ちに	教科書『保育者の常識67』を通して保育現場での実際とリンクさせながら授業を進め、求められる保 著者像を分かりやすく学べるようにする。 グループ園実習1週間実習2回を通して、めあてをもった実習の大切さを伝える。)育ちに合ったテーマの選び方や指導案の立案の仕方を指導(部分実習指導案・責任実習指導案))外部実習に向けての準備を進める。								
テキスト	保育の基	幼稚園・保育所・認定こども園実習パーフェクトガイド(わかば社) 実践保育学(日本小児医事出版社) 保育の基本用語(わかば社) 保育者の常識67(一藝社) 冊子…グループ園実習のしおり、日誌指導案の書き方、日誌書き方サンプル、指導案サンプル								
	第1回	グループ園実習1週間実習1回目に向	可けて・・・めあて	をもった実習0	つ在り方	につい	て			
	第2回 育ち(年齢)にあった制作活動について学び、次回の1週間実習で行う制作のテーマを考える									
	第3回 制作の指導案の立案の仕方を学び、実際に立案してみる									
	第4回 制作の指導案を立案する									
	第5回 育ち(年齢)にあった遊びや運動等について学び、次回の1週間実習で行う遊びのテーマを考える									
	第6回	第6回 遊び(運動)の指導案の立案の仕方を学び、実際に立案してみる								
	第7回	第7回 遊び(運動)の指導案を立案する								
授業計画	第8回 グループ園実習1週間実習2回目に向けての準備をする									
	第9回 責任実習指導案の立て方を学ぶ									
	第10回 責任実習指導案を立案する									
	第11回 責任実習指導案を立案する									
	第12回 オリエンテーションに受け方について学ぶ									
	第13回	第13回 望まれる保育者の姿について学ぶ								
	第14回 望まれる保育者の姿について学ぶ									
	第15回	外部実習(2/15~3/1)に向けての準	備を進める 		T*********	1		T		
単位認定				総合評価	期末	中間	平常	出欠		
評価方法		平価:課題提出物の状況·確認テス		算出基準	50%	25% ≠ z	10%	15%		
	<u> </u>)評価の結果、総合評価算出基準[こよりし認定以	エい白を単位	は認定	<u> </u>				

対象学科 こども学科 実施学年 1学年 開講期 科目名 造形表現Ⅱ 授業形態 演習 単位数 担当教員 川嶋 宣彦 実務経験の有無 〇	前期 ———— 1 単位							
	1 単位							
担当教員 川嶋 宣彦 実務経験の有無 (
)							
実務経験教員の経歴 高校教諭(美術工芸)、大学美術科非常勤講師	高校教諭(美術工芸)、大学美術科非常勤講師							
授業のねらい (到達目標) こどもの表現や発達をイメージしながら、美術・造形の基礎・基本が身につき、実際し うな理論と教材研究を体得する。実技においても単に制作するのではなく、子どもの 達、発想を常にイメージし、教育の現場に立った時を考えながら制作活動をする。	こどもの表現や発達をイメージしながら、美術・造形の基礎・基本が身につき、実際に役立つような理論と教材研究を体得する。実技においても単に制作するのではなく、子どもの表現、発達、発想を常にイメージし、教育の現場に立った時を考えながら制作活動をする。							
	単なる美術・造形ではなく、幼児・児童に即した造形表現の教材を視野に入れて、子どもが楽しく造形活動ができる教材のあり方、支援の仕方、指導のあり方についても考えに入れながら、 理論と実技の両面から実践的に研究をする。							
テキスト 「造形表現論」豊岡短期大学								
第1回 人と美術造形表現について								
第2回 美術・造形分野について	第2回 美術・造形分野について							
第3回 色・色彩について①	第3回 色・色彩について①							
第4回 色・色彩について②	第4回 色・色彩について②							
第5回 色・色彩について③	第5回 色・色彩について③							
第6回 形の構成 構成の原理①	第6回 形の構成 構成の原理①							
第7回 形の構成 構成の原理②	第7回 形の構成 構成の原理②							
授業計画 第8回 形の構成 構成の原理③	第8回 形の構成 構成の原理③							
第9回 いろいろな表現技法について①	第9回 いろいろな表現技法について①							
第10回 いろいろな表現技法について②	第10回 いろいろな表現技法について②							
第11回 いろいろな表現技法について③	第11回 いろいろな表現技法について③							
第12回 立体造形表現①	第12回 立体造形表現①							
第13回 立体造形表現②	第13回 立体造形表現②							
第14回 鑑賞	第14回 鑑賞							
第15回 造形教育のまとめ								
期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席	平常 出欠							
単位認定 貸出其淮 一	25% 10% 15%							
・	10% 10%							

科目名 音楽基礎 授業形態 演習 単位数 1 担当教員 石川 美穂 実務経験の有無 〇 実務経験教員の経歴 個人教室でのピアノレッスンの他、障害児施設での余暇講師としてピアノ演奏を行う。また、定期的に演奏会やオーディションに参加することで自ら技術の向上を目指す。 子どもの豊かな感性や表現力、想像力を育むために、指導者に必要な音楽的技術を身に付け、保育者とは住を養う。 授業概要 1)楽譜を読むための音楽的基礎知識を学ぶ 2)音楽表現における乳幼児の発達過程を学び、指導者としての感性を養う。 テキスト ・豊岡短大テキスト「音楽表現論」・「保育の四季 幼児の歌110曲集」 第1回 幼児教育における音楽の役割について 第2回 基礎知識② 音の長短 拍子記号 第4回 基礎知識② 達度表示 強弱記号 第5回 基礎知識② 奏法記号 省略記号 第6回 調性について① 音階 第7回 調性について② 主音と調号 類果計画 第8回 和声とコード① 度数 音程	が期 単位 感							
担当教員 石川 美穂 実務経験の有無 「大変でのピアノレッスンの他、障害児施設での余暇講師としてピアノ演奏を行う。また、定期的に演奏会やオーディションに参加することで自ら技術の向上を目指す。 「授業のねらい (到達目標) 「大どもの豊かな感性や表現力、想像力を育むために、指導者に必要な音楽的技術を身に付け、保育者とはを養う。 「投業概要 「大変における引効児の発達過程を学び、指導者としての感性を養う。 「場間を大テキスト「音楽表現論」・「保育の四季 幼児の歌110曲集」 第1回 幼児教育における音楽の役割について 第2回 基礎知識① 音の高低 楽譜の読み方 音名と臨時記号 第3回 基礎知識② 音の長短 拍子記号 第4回 基礎知識② 速度表示 強弱記号 第5回 基礎知識② 速度表示 強弱記号 第6回 調性について① 音階 第7回 調性について② 主音と調号 「授業計画 「対策を持続していて② 主音と調号 を持続していて② 主音と調子 を持続している。 はいましている。 はいまして								
実務経験教員の経歴 個人教室でのピアノレッスンの他、障害児施設での余暇講師としてピアノ演奏を行う。また、定期的に演奏会やオーディションに参加することで自ら技術の向上を目指す。 授業のねらい (到達目標)	ての感							
表示に験対員の程位 また、定期的に演奏会やオーディションに参加することで自ら技術の向上を目指す。 接業のねらい (到達目標) 子どもの豊かな感性や表現力、想像力を育むために、指導者に必要な音楽的技術を身に付け、保育者とは 性を養う。	での感							
(到達目標) 性を養う。 投業概要	ての感							
2)音楽表現における乳幼児の発達過程を学び、指導者としての感性を養う。								
デキスト ・「保育の四季 幼児の歌110曲集」 第1回 幼児教育における音楽の役割について 第2回 基礎知識① 音の高低 楽譜の読み方 音名と臨時記号 第3回 基礎知識② 音の長短 拍子記号 第4回 基礎知識② 速度表示 強弱記号 第5回 基礎知識④ 奏法記号 省略記号 第6回 調性について① 音階 第7回 調性について② 主音と調号 第8回 和声とコード① 度数 音程								
第2回 基礎知識① 音の高低 楽譜の読み方 音名と臨時記号 第3回 基礎知識② 音の長短 拍子記号 第4回 基礎知識③ 速度表示 強弱記号 第5回 基礎知識④ 奏法記号 省略記号 第6回 調性について① 音階 第7回 調性について② 主音と調号 第8回 和声とコード① 度数 音程								
第3回 基礎知識② 音の長短 拍子記号 第4回 基礎知識③ 速度表示 強弱記号 第5回 基礎知識④ 奏法記号 省略記号 第6回 調性について① 音階 第7回 調性について② 主音と調号 第8回 和声とコード① 度数 音程								
第4回 基礎知識③ 速度表示 強弱記号 第5回 基礎知識④ 奏法記号 省略記号 第6回 調性について① 音階 第7回 調性について② 主音と調号 第8回 和声とコード① 度数 音程								
第5回 基礎知識④ 奏法記号 省略記号 第6回 調性について① 音階 第7回 調性について② 主音と調号 授業計画 第8回 和声とコード① 度数 音程								
第6回 調性について① 音階 第7回 調性について② 主音と調号 授業計画 第8回 和声とコード① 度数 音程	第4回 基礎知識③ 速度表示 強弱記号							
第7回 調性について② 主音と調号	第5回 基礎知識④ 奏法記号 省略記号							
授業計画 第8回 和声とコード① 度数 音程	第6回 調性について① 音階							
	第7回 調性について② 主音と調号							
第9回 和声とコード② 三和音 コードネーム	第8回 和声とコード① 度数 音程							
	第9回 和声とコード② 三和音 コードネーム							
第10回 中間試験 コードネームから伴奏付けを行う	第10回 中間試験 コードネームから伴奏付けを行う							
第11回 レポート対策	第11回 レポート対策							
第12回 レポート対策	第12回 レポート対策							
第13回 レポート対策	第13回 レポート対策							
第14回 科目終了試験	第14回 科目終了試験							
第15回 前期期末試験								
期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 総合評価 期末 中間 平常	出欠							
単位認定 ・ 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度 評価方法								
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	15%							

対象学科			実施学年	1学年	開記	講期	後	:期		
科目名		RGS	授業形態	演習	単化	立数	1 単	単位		
担当教員		本田 拓也 実務経験の有無 ×								
実務経験教員の経歴						_				
授業のねらい (到達目標)	にし、働・ 2. 就職に リア形成 3. 「社会	. 自分のキャリアにおいて新潟こども医療専門学校に進学した目的、専門分野を選択した理由を明確 こし、働くことへの理解を深める。 2. 就職活動で重要な「自己理解」を深めながら今後自分が進みたい方向性について考え、自身のキャ リア形成のための基礎的知識を得る。 3. 「社会人基礎力」のうち「前に踏み出す力」の重要性について理解し、就職活動で必要な「態度」(= 主体性と実行力」)を養いつつ、応募関係書類の記入方法や面接対応の準備をする。								
授業概要	学校生活 ることを このため す。卒業	キャリア」とは、将来の職業のことだけを指すのではなく、わたしたちの生き方・人生のことです。 学校生活、そして社会に出た後の自分の生き方・人生について、主体的に考え行動する力を身につけることを目的とします。 しため「社会人基礎力」の中から特に「前に踏み出す力」に焦点をあて、各担当教員が授業を行います。 な業生や在校生の先輩の話も直接聞きながら、「働く」ことにについて学びを深めながら、主体的に し生の選択をし就職活動に取り組む方法や態度を身につけます。								
テキスト		配布のデジタルデータ(PPT/PDF/WORD/EXCEL)								
	第1回	第1回 入学理由から、人生の中での就職活動の位置づけについて(PPT)								
	第2回 前年度の就職活動状況報告(PPT)									
	第3回 多様な働き方(PPT)									
	第4回 契約と労働条件(PPT)									
	第5回 働きすぎと心身の健康(PPT)									
	第6回 働き続けやすさとは(PPT)									
	第7回 就職活動の際の留意点(PPT)									
授業計画	第8回 スーツ講座(洋服の青山様による講座)									
	第9回 自己分析の仕方、園研究の仕方									
	第10回 履歴書書き、面接マナーを学ぶ									
	第11回 履歴書書き、面接マナーを学ぶ									
	第12回	履歷書作成						·		
	第13回	面接練習(立ち居振る舞い)					-			
	第14回 メイク講座(外部講師による講座)・写真撮影									
	第15回 就職実務研修									
W 11 = 77 - 1-	期末記	式験の実施 授業時数の2/3以_	上の出席	総合評価	期末	中間	平常	出欠		
単位認定 - 評価方法	平常部	平価:課題提出物の状況・確認テス	ト・授業態度	算出基準	50%	25%	10%	15%		
可测力/公	上記の)評価の結果、総合評価算出基準(によりC認定り	J上の者を単	位認定	する				

		·			<u> 新潟ことも</u>	区原守	<u>. T. T.</u>			
対象学科		こども学科	実施学年	1学年	開講期	後期	期			
科目名		リトミック I 授業形態 演習 単位数 1 単位								
担当教員		小見 英晴 実務経験の有無 〇								
実務経験教員の経歴		幼稚園教諭7年 リトミック指導16年								
授業のねらい (到達目標)	「幼稚」	「幼稚園・保育園のためのリトミック2級指導資格」を取得することをねらいとする。								
授業概要		「幼稚園・保育園のための2級指導資格」を取得することをねらいとし、そのためのリズム、 ティーチング、リズムの演奏法を修得する。								
テキスト		園、保育園のためのリトミック 園、保育園のためのリトミック		園、保育園の	のための4歳」	見用」				
	第1回	リトミックについて 楽しいリトミックの経験				•				
	第2回	楽しいリトミックの経験 強弱・テンポ・空間・アクセント								
	第3回	第3回 基礎リズム 基礎リズムパタ―ンの理解と指導上の留意点								
	第4回	第4回 3歳児指導法-1学期 リズムの演奏法(3歳児指導法-1学期)								
	第5回	第5回 楽しいリトミックの経験 基礎的な動き								
	第6回	基礎リズム(2拍子) 拍子			•					
	第7回	第7回 3歳児指導法-2学期 リズムの演奏法(3歳児指導法-2学期)								
授業計画	第8回	第8回 楽しいリトミックの経験 基礎リズム(2拍子)								
	第9回	拍子 ティターティ・ターイティを含む								
	第10回	3歳児指導法-3学期 リズムの演奏法-3学期								
	第11回	楽しいリトミックの経験 基礎リズム(3・4拍子)								
	第12回	第12回 拍子 楽しいリトミックの経験								
	第13回	第13回 リズムカノン導入 リズムフレーズ2・3拍子								
	第14回	第14回 リズムの演奏法(3歳児指導法-1~3学期) リトミックの理論とダルクルーズについて								
	第15回	2級 資格認定試験								
光心 动中	期末試	験の実施 授業時数の2/	/3以上の出席	総合評価	期末中間	平常	出欠			
単位認定 - 評価方法	平常評	『価:課題提出物の状況・確認	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							
1 1 mm / J /A	上記の	評価の結果、総合評価算出	基準によりC認定以	上の者を単位	立認定する					

				初かり	<u> </u>				
対象学科	こども学科	実施学年	1学年	開講期	通年				
科目名	基礎実習	基礎実習 授業形態 実習 単位							
担当教員	実習専任教員	実習専任教員実務経験の有無							
実務経験教員の経歴	保育園・幼稚園・小学校	保育園・幼稚園・小学校等の該当実習施設での勤務経験							
授業のねらい (到達目標)	実習生の姿勢・態度 ・実習に関するマナーや職業倫理について知る。 ・実習を通して、子どもたちと一緒に遊びながら子どもと関わることの楽しさを味わい、保育の仕事に関心を深め期待を高める。 ・提出物は期日を守る。 知識及び技能 ・園生活の一日の流れを理解する。 ・子どもの発達過程を理解し、保育環境や援助の在り方についても考えてみる。 ・簡単な保育実技を身につけ、グループ園で体験してみる。 実習日誌 ・日誌の意義、記入上の諸注意について学び理解する。 ・メモのとり方や日誌の書き方を学び、グループ園実習を通して実際に日誌を書いてみる。 指導案 ・指導案とは何かを知り、立案の仕方を学ぶ。 ・グループ園実習に向けて 年齢に合った指導家を作成し 実際に体験してみる。								
授業概要	グループ園実習を通して、学校で学ぶ倫理と園での保育実践のすり合わせをしたら、子どもの発達や保育者のかかわりを体験的に理解し、様々な技術を習得するまた、社会人としての道義・礼節・常識についても気づき、身につける。								
単位認定 ・ 評価方法	実習園による評価(出勤状況・実習態度・及び実習日誌を総合して評価をする。				亜基準に基づ				
	上記の評価の結果、総合評価算出基準に	-よりし訟定り	.エの白を単位	上談正9つ					

					本月 が可	<u> </u>	<u> </u>	学门子	
対象学科		こども学科	実施学年	1学年	開語	溝期	移	後期	
科目名		音楽表現Ⅱ	授業形態	演習	単位	 位数	1 .	——— 単位	
担当教員	石川美	□川美穂・川内奈央・寺内めぐみ・市嶋融介 実務経験の有無 ○							
実務経験教員の経歴	楽器)の	・講師それぞれが、音楽教室・自宅でのピアノ指導歴数十年、またソロの演奏活動、声楽(他 経器)の伴奏等の経験より、初心者の学生からレベルの高い学生まで幅広い指導を行うことが き、「音楽による表現」へのアプローチ、コードによる伴奏付け等のアドバイスを行っている。							
授業のねらい (到達目標)	楽曲の	を間違う、途中で止まる、弾き直すなどのない演奏をする。 曲のテンポを正しくとり、音楽の流れを中断しないようにする。 揚のある表情豊かな演奏を心がけたとえ練習曲であっても美しい音楽作品になるように心が る。							
授業概要	本科目で け、対象	科目では、楽譜を読む、音を奏でる、リズムを打つといった音楽の基礎知識、技術を身につ、対象者に合わせた音楽活動について考察する。また、保育・教育・福祉等の現場に即した 楽活動について体験的な学習をする。							
テキスト	豊岡短	大テキスト「こどもと音楽表現」「ノ	ベイエルピアノ 曲集」	教則本」「傷	育の	四季:	幼児の	歌110	
	第1回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイニ	ェル・弾き歌い) 習する。	を中心に各個	人の進	度に合	わせた	曲を練	
	第2回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイン	ェル・弾き歌い) 習する。	を中心に各個	人の進	度に合	わせた	曲を練	
	第3回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイニ	エル・弾き歌い) 習する。	を中心に各個	人の進	度に合	わせた	曲を練	
	第4回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイニ	ニル・弾き歌い) 習する。	を中心に各個	人の進	度に合	わせた	曲を練	
	第5回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイコ	エル・弾き歌い) 習する。	を中心に各個	人の進	度に合	わせた	曲を練	
	第6回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイコ	Cル・弾き歌い) 習する。	を中心に各個	人の進	度に合	わせた	曲を練	
	第7回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイコ	にル・弾き歌い) 習する。	を中心に各個	人の進	度に合	わせた	曲を練	
授業計画	第8回		中間試験						
	第9回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイン	習する。						
	第10回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイコ	にル・弾き歌い) 習する。	を中心に各個	人の進	度に合	わせた	:曲を練	
	第11回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイコ	ェル・弾き歌い) 習する。	を中心に各個	人の進	度に合	わせた	曲を練	
	第12回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイコ	Cル・弾き歌い) 習する。	を中心に各個	人の進	度に合	わせた	曲を練	
	第13回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイコ	にル・弾き歌い) 習する。	を中心に各個	人の進	度に合	わせた	曲を練	
	第14回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイコ	Eル・弾き歌い) 習する。	を中心に各個	人の進	度に合	わせた	曲を練	
	第15回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイコ	⊏ル・弾き歌い) 習する。	を中心に各個	人の進	度に合	わせた	曲を練	
78 /T = 1 - 1	期末試	歳の実施 授業時数の2/3以	上の出席	総合評価	期末	中間	平常	出欠	
単位認定 • 評価方法	平常評	『価:課題提出物の状況・確認テス	ト・授業態度	算出基準	50%	25%	10%	15%	
TI IM /J /A	上記 <i>σ</i>	 評価の結果、総合評価算出基準	こよりC認定じ	リトの老を単位	位認定	する			